

ハリマ化成（株）加古川製造所

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況（令和3年度）

(1) 大気汚染に係る対策

推進の内容	実施の成果
①ボイラー排ガスの定期測定、及びボイラー日常点検、定期点検の実施	① ボイラーの適正運転を実施し、窒素酸化物排出量の協定値を順守できました。
②粗トール油（松脂）の蒸留副産品を利用するバイオマス発電事業による炭酸ガス削減	②バイオマス燃料使用による炭酸ガス排出量の削減効果は年間32,800tとなりました。構内使用電気量に対する再生可能エネルギーの比率は81.8%となりました。
★ ③温室効果ガス（GHG）削減の推進 2021年6月16日に当社グループは、政府方針「2030年に温室効果ガス（GHG）を2013年度比46%削減する」に対し、3年前倒しで「2027年に46%、2030年に50%削減する」方針を表明しました。	③これまで取り組んできたバイオマス発電設備と太陽光発電を継続しつつ、「再生可能エネルギーの拡大」「バイオマス燃料の拡大」「エネルギーの効率化」に取り組み、当社の強みである、トール油蒸留設備とバイオマス発電設備を最大限に活用して、目標の達成に努めてまいります。

(2) 水質汚濁に係る対策

推進の内容	実施の成果
①排水監視装置の更新及び保守点検 ア. 排水水質の監視強化 イ. 窒素・リン・COD自動測定装置の外部業者点検 ウ. 監視装置の日常点検強化	①排水水質の管理体制を強化し、水質の維持管理が図れました。
②工場内排水槽の浚渫及び高圧洗浄	②汚泥の流出防止の強化が出来ました。

(3) 騒音、振動に係る対策

推進の内容	実施の成果
①騒音の定期測定実施	①騒音の協定値を順守できました。

②ポンプ、圧縮機等の定期点検、オイル交換、部品交換等を実施	②装置の維持、管理、騒音振動の抑制ができました。
-------------------------------	--------------------------

(4) 悪臭に係る対策

推進の内容	実施の成果
①廃ガス処理装置やスクラバー等の定期点検と整備の実施	①悪臭物質測定値は規制値以下の良好な値を維持できました。
②従業員による午前、夕方、及び夜間の臭気パトロールを強化	②工場周辺のパトロールを強化し、臭気の早期発見に努めました。
③臭気監視システムの活用による発生源調査、重点箇所対策	③敷地境界に設置した臭気監視システムの測定値を活用して、臭気発生時の原因を調査し、発生源での臭気低減対策に努めました。

(5) 産業廃棄物に係る対策

推進の内容	実施の成果
①廃棄物の分別及びリサイクル推進 ア. 廃棄物の計画的な処分、発生量の削減 イ. 再生利用、リサイクルへの転換 ウ. 事務消耗品のグリーン購入推進	①廃棄物の分別リサイクル ア. 廃棄物在庫量を社内基準内で管理できました。 イ. 発生量に対する埋立量0%を維持し、ゼロエミッションを継続しました。 ウ. 事務消耗品のグリーン購入比率は97.3%となりました。
② 廃棄物焼却炉の適切な運転	②廃棄物焼却炉の排出ガスの測定値は、規制値以下の良好な値を維持できました。

(6) 緑化に係る対策

推進の内容	実施の成果
①工場内の植樹、植木の剪定、除草、花壇、芝生の整備	①工場内の緑地の維持、及び整備ができ、緑化面積が増加しました。
★ ②工場北側市道沿いの土地に樹木、マリーゴールドを植栽したことに加え、新たに道沿いに水仙を植栽しました。	②水仙の植栽個所は「すいせんロード」と命名し、マリーゴールド園とともに、広く市民の方にも楽しんで頂きました。

すいせんロード



マリーゴールド園



(7) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
①地域との交流 ア. 水足町内会との情報交換 イ. ため池発電を検討 ウ. 年末に製造所周囲の清掃を実施	①定期的な交換会はコロナ禍により中止しましたが、必要に応じて情報交換を実施しました。 ・いなみ野ため池巡りロゲイニングへ協賛 ・加古川楽市へ協賛とブース出展 地域との良好な関係を維持しました。
②「インターンシップ」で姫路工業高校、兵庫工業高校、播磨南高校の生徒を受入れ	②9名の高校生を受入れ、教育活動に協力できました。



③各種団体の視察受入れ	③9件、約80名の方々に視察頂き、工場の業務内容について理解を深めて頂きました。
-------------	--

(8) その他

推進の内容	実施の成果
①年末に正門前の市道側溝を清掃し、土砂を撤去しました。	①雨水の排水が改善できました。
②省エネ改善活動の推進 ア. 省エネタイプ機器への変更 イ. 工程改善や設備の適正運用・保全による省エネへの取り組み ウ. 導入した製造実行システムの活用によるエネルギー見える化	②燃料、電気、蒸気を効率的に使用することにより、使用量の削減ができました。
③環境報告書の作成とホームページでの公開  環境報告書 2021	③当社グループの環境への取り組みについて広く紹介させて頂きました。
④従業員の教育訓練、啓蒙活動 ア. 緊急地震速報対応訓練の実施 イ. 構内に危険体感室を設置し、静電気、溶剤、粉じん爆発の体感研修を実施 ウ. 排水異常、漏洩事故等の緊急対応訓練の実施	④緊急時の対応が確認できました。従業員の安全、環境への意識向上が図れました。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /時)	5.9	2.3
	(t/年)	57.6	24.2

(2) 水質関係

①汚濁負荷量

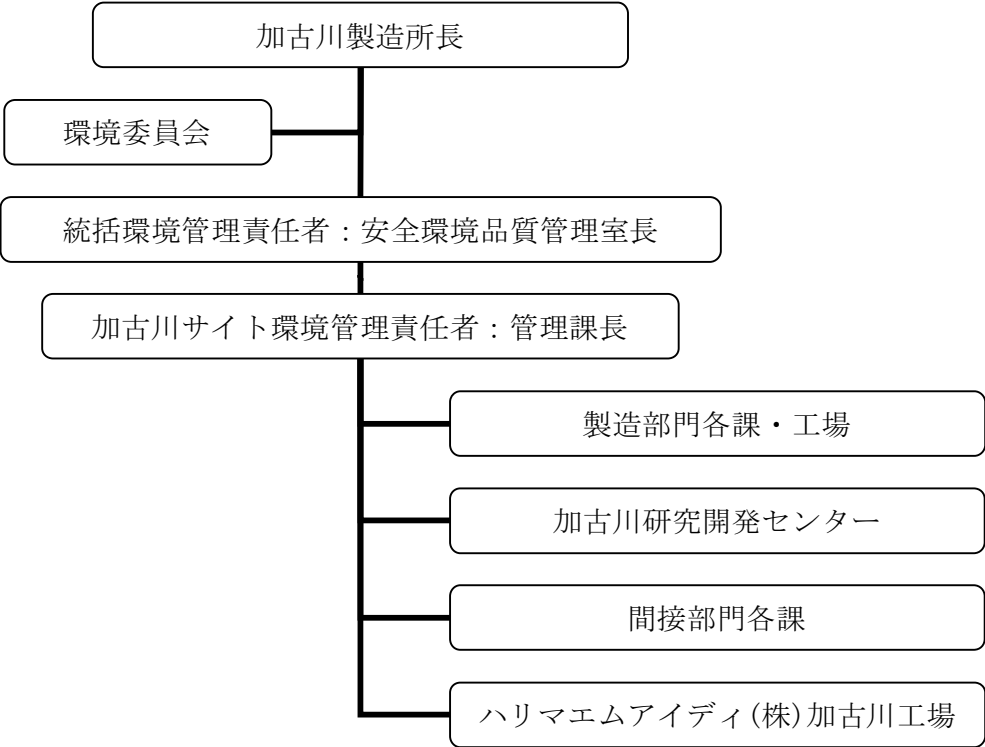
項 目		協 定 値	実 績 値
化学的酸素要求量 (COD) (kg/日)	通常	169	3.5
	最大	239	5.3
生物化学的酸素要求量 (BOD) (kg/日)	通常	223	2.5
	最大	314	3.8
浮遊物質量 (SS) (kg/日)	通常	128	4
	最大	181	7
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (kg/日)	通常	40	<0.7
	最大	56	<0.9

② 許容限度

項	目	協定値	実績値
水素イオン濃度 (pH)	最小～最大	5.8～8.6	6.4～7.9
COD (mg/L)	日間平均	38	2.3
	最大	52	4.5
BOD (mg/L)	日間平均	50	1.6
	最大	58	3.3
SS (mg/L)	日間平均	29	3
	最大	40	18
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	日間平均	9	<0.5
	最大	15	<0.5
フェノール類含有量 (mg/L)	最大	0.5	<0.02

3. 環境保全活動

(1) 令和4年度基本方針

項目	内容
基本方針	当社は、「自然の恵みを暮らしに活かす」を企業理念とし、一人ひとりが環境方針に基づき環境保全活動を積極的かつ継続的に推進します。
組織体制	 <pre>graph TD; A[加古川製造所長] --- B[環境委員会]; A --- C[統括環境管理責任者：安全環境品質管理室長]; C --- D[加古川サイト環境管理責任者：管理課長]; D --- E[製造部門各課・工場]; D --- F[加古川研究開発センター]; D --- G[間接部門各課]; D --- H[ハリマエムアイディ(株)加古川工場];</pre>

(2) 令和4年度環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成のための計画、方策
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> ・環境関連規制の順守 ・法改正への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ①化学物質管理システムによる原料・製品管理 ②J I S改正対応安全データシートは随時改訂 P R T R対象物質の排出量把握継続
エネルギー対策 (地球温暖化に係る対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気使用量、蒸気使用量原単位前年度比1%削減 ・燃料使用量原単位前年度比2%削減 ・CO2排出量前年度比1%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ①高効率、適正能力の機器への更新、照明のLED化、機器の運転条件や製造工程の見直し等による消費電力削減 ②副産物の有効利用検討、燃料種の見直しによる石化燃料使用量削減 ③不要設備の撤去による蒸気使用量削減
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物発生量原単位前年度比3%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ①不良品発生防止、工程改善、有価販売、リサイクルの推進 ②在庫量把握と長期在庫品の期限内出荷徹底
不法投棄に係る対策	<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定廃棄物処理業者への処理委託 	<ul style="list-style-type: none"> ①優良認定、I S O 1 4 0 0 0、エコアクション21等の認証取得業者との処理委託契約 ②最終処分地の現地監査 ③電子マニフェストによる管理強化
緑化に係る対策	緑地、樹木の維持	①緑地の整備、樹木の剪定・害虫駆除、除草、散水
環境マネジメントシステム	I S O 1 4 0 0 1 マネジメントシステムに沿った継続的改善活動推進	<ul style="list-style-type: none"> ①更新審査完了、内部監査によるシステムの維持 ②内部監査のレベルアップ ③全社環境委員会及び月次の加古川サイト環境委員会で改善状況確認
環境教育	環境保全に関する従業員教育の継続	<ul style="list-style-type: none"> ①環境に関する勉強会の実施 ②総合防災訓練の実施 ③環境関係の公的資格取得推進
地域社会への参画	地域社会との相互理解強化と環境保全活動への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> ①地域住民団体との定期交流 ②「インターンシップ」の中高生受入、各種団体の見学ツアー受入 ③事業場周辺の美化活動
環境コミュニケーション	環境情報の開示	<ul style="list-style-type: none"> ①環境報告書による情報公開 ②弊社ホームページにおける環境への取組公開
★ 周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等	迅速な情報提供	<p>事故の規模及び予想される影響に応じて、下記の方法による情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地元町内会長への連絡 ②広報車等による呼びかけ ③住民説明会の実施

敷地境界騒音測定地点

